# 掘りday/はちのへ

-八戸市埋蔵文化財ニュース第13号-



## 祭祀具?錫杖状鉄製品2組が出土~林ノ前遺跡~

平成12年度から調査を進めている平安時代の集落・林ノ前遺跡で、錫杖状鉄製品とよばれる鉄製品が4点出土しました。

錫杖状鉄製品は、仏具の錫杖の頭の部分に形が似ていることから名づけられ、北東北で多く 出土することが知られています。林ノ前遺跡で はこれまで10点以上が出土しています。

今回出土した4点は、ほぼ完全な形で、2点

ずつ大きさ・特徴がよく似ています。1組は、 土坑の底に束ねられたような状態で置かれてい ました。もう1組は竪穴住居跡の埋め戻し土中 に投げ込まれたような状態で出土しています。

シャラシャラと音を響かせていた道具を、なぜ土坑や廃絶した住居跡に納めたのかわかりませんが、平安時代のこの地域独特の祭祀具と考えられます。 (船場 昌子)

# 山林の集落遺跡~湯づ沢遺跡~

湯ノ沢遺跡は八戸市庁から南西へ約6km、馬淵川の右岸に形成された標高75~105mの段丘上に立地しています。現状は山林で、八戸市の一般廃棄物処分施設を建設するために発掘調査が行われ、縄文時代、古代、近世の集落跡であることがわかりました。

縄文時代の遺構は後期(今から 3,000 ~ 4,000 年前)が中心で、竪穴住居跡と複数の土坑が見つかりました。本遺跡の遺構は、竪穴住居が沢沿いの低地に、土坑群が遺跡中央の見晴らしの良い尾根上に立地するという特徴があります。尾根上の土坑群には、箱形に浅く掘り込んだものと、理科の実験で使うフラスコのような形に深く掘ったものがありました。

尾根上の土坑群の周りからは完全に形の残った土器や、赤色顔料、丁寧に磨かれた小型の磨製石斧など、特異な遺物が出土しました。また、箱形の土坑の土は、人の手によって埋め戻されたものであることがわかっています。こうした状況を他の縄文時代の遺跡と考え合わせると、箱形の土坑の性格はお墓の可能性があります。フラスコ形の深い土坑は木の実などの食料を貯めておくためのものと考えられます。



沢沿いに立地した縄文時代の竪穴住居跡



尾根上に並ぶ縄文時代の土坑群

遺跡の北側には、江戸時代の掘立柱建物跡がありました。また、緩斜面に建物を作るために、切り土をして整地しています。建物の柱は、柱と柱の間隔が尺寸法とずれていて、柱の並びも直線上に位置しないので、粗雑で簡素な作りの建物であったと思われます。 (横山 寛剛)



江戸時代の切土整地跡と柱穴



火皿に唐草風の文様が入った煙管の雁首 17世紀・長さ 5.3cm

### 新井田川下流域の平安時代拠点集落~田向遺跡~

田向遺跡は八戸市田向地区に所在し、東側を新井田川が流れています。田向土地区画整理事業に伴い、平成13~15、17~20年の計7年間にわたり発掘調査を実施しました。調査総面積67,898㎡、ほぼ遺跡全体を調査し、市内では最大規模の発掘調査となりました。

本遺跡では縄文時代早期中葉、弥生時代前期、飛鳥時代、平安時代〜近世にわたる様々な時代の遺構・遺物が出土しており、長期にわたって人が住み続けてきたことがわかりました。ここでは、平安時代(9世紀中葉〜10世紀初頭)の様子について紹介します。

遺構は主に遺跡南側に広がっていました。竪 穴住居跡 60 棟、竪穴遺構 5 基、土坑 8 基が検 出されています。

大型(6~7m四方)の竪穴住居跡は6棟程 みられます。これらの住居では鉄製品や須恵器 といった、当時希少価値の高い遺物がたくさん 出土しており、本遺跡の中でも身分の高い人物 が居住していた可能性があります。また、ある 大型住居の検出状況をみると、住居を捨てる際 に火をつけて燃やし、その後、須恵器の大甕を 粉々に砕いたものを撒いていた様子をうかがえ ます。住居を捨てる際の儀礼行為と考えられま す。本遺跡では多くの住居が火災を受けた痕跡 が認められますが、自ら火をつけて燃やしたと みられるものはこの住居のみで貴重な事例とい えます。

遺物では、土師器・須恵器・鉄製品などの他に、 こんどうせいつぼあぶみ 金銅製壺鐙・金銅製足金具・石帯などの特殊な 遺物も出土しています。これらは、八戸地域の 平安時代の集落から出土することが珍しいもの です。

本遺跡は、集落の規模と立地から、新井田川 下流域の拠点集落であったことは間違いありま せん。しかし、同時代の周辺遺跡との関係など、 まだわかっていない部分が多くあります。

今後、周辺遺跡の調査事例の増加を待ちながら、その役割を明らかにしていきたいと考えています。 (杉山 陽亮)



平安時代の竪穴住居跡検出状況



**平安時代の焼失大型竪穴住居跡** 火をつけて竪穴住居を燃 やした後に粉々にした須恵器を撒いていた。



石帯 儀式などでベルトに装着して使用された。身分によって石の種類が異なる。同じ場所から2点出土した。「はんれい岩」製。大きさ約4cm四方。

※「金銅製壺鐙」:馬具。馬に乗る際に足をかける道具「金銅製足金具」:刀のさやにつける道具

#### 一王寺(1)遺跡 ~平成 21 年度の調査~



是川遺跡全体図 21年度の調査により、総面積は28万6千㎡となりました。

今年度は、一王寺 (1) 遺跡西側に隣接する、 標高 70 ~ 100m の丘陵部を調査しました。

一王寺(1)遺跡は縄文時代前期・中期の円 筒土器を中心とする遺跡であることが知ら れています。

今年度の調査により、遺跡西側の丘陵部か ら縄文時代中期末~後期初頭の竪穴住居跡 や土器・石器が発見され、現状が山林である 丘陵部にまで一王寺 (1) 遺跡の範囲が広がる ことがわかりました。

また、中居遺跡の特殊泥炭層を有する「南 の沢」と一連のものと考えられる沢跡も見つ かり、是川遺跡の当時の環境を考える上で重 要な情報が得られました。 (横山 寛剛)

# 街道に面した八幡宮縁の屋敷地~ギ石屋敷遺跡~

千石屋敷遺跡は、櫛引八幡宮南側に位置し、 西側には国道104号が通っています。縄文時 代の遺跡として登録され、国道拡幅に伴う住宅 の建替えや移設に伴って、平成21年度に初め て発掘調査が行われました。調査の結果、縄文 時代の陥し穴のほか、江戸時代の竪穴遺構や柱 穴、溝跡、土坑墓等が見つかりました。

国道 104 号は、三戸方面から八戸へ至る旧 三戸街道にあたり、江戸時代の文献(※)には、 街道に沿って櫛引八幡宮に関係する屋敷地が形 成されていたことが記されています。江戸時代 の遺構は、これらの屋敷跡と考えられます。遺 構の中には人骨が出土した穴もあり、屋敷地に はお墓も作られていました。

今後、この地域の調査をさらに行うことに よって、街道に沿って立ち並ぶ屋敷の中の様子 や、当時の地割りを明らかにしていきたいと考 えています。 (船場 昌子)

※「北奥路程記」:江戸時代末期、盛岡藩士の漆戸茂樹により記 された記録。盛岡~下北に至る行程や町の様相が記されている。



完掘状況 左右にみられる溝跡は、街道と直交するように東 西に延びています。



江戸時代の竪穴遺構

# 「合掌土偶」商標登録

合掌土偶の国宝指定(平成21年7月10日)に伴い、商標登録を行いました。登録された商標は、「合掌土偶」という文字商標、図形商標(合掌土偶の写真)、立体商標(合掌土偶のかたち)の3件です。

商標登録は、特定の事業者が「合掌土偶」を商標として独占的に使用することを防ぎ、多くの事業者が広く使用できるようにするためのものです。この商標を使用する場合は、許可が必要となります。使用料は無料です。詳しくは、八戸市商工政策課(0178-43-9242)へお問い合わせください。 (久保 伝)

#### 合掌土偶(文字)



上記のものが対象になります

#### 平成 21 年度八戸市遺跡調査報告会



展示風景 中央が田代遺跡出土のベンガラ入り土器

平成21年11月14日(土)、八戸市総合福祉会館において平成21年度八戸市遺跡調査報告会を開催しました。この報告会は、八戸市内の主な発掘調査成果報告と出土遺物の展示を行なうもので、今回は約100名の参加者がありました。

報告は、縄文時代の土坑や江戸時代の掘立柱建物跡が見つかった湯ノ沢遺跡、縄文・弥生・古代・中世・近世の各時代の集落が検出された田向遺跡、赤色顔料(ベンガラ)の詰まった縄文土器が出土した田代遺跡の3遺跡でした。

また、風張 (1) 遺跡出土合掌土偶の国宝指定を記念し、 新井田川を挟んで位置する風張 (1) 遺跡と是川遺跡についての研究発表を行ないました。 (船場 昌子)

#### 一年間を振り返って

文化財課文化財グループに配属されて、不安と期待に胸を躍らされていたのもつかの間、春にはカモシカを追っかけ、夏から秋は山の中の遺跡を駆け回り、冬は慣れない報告書の原稿書きに悪戦苦闘しているうちに、あっという間に一年間が過ぎてしまいました。

文化財課の一年で実感したこと、それは八戸市に は本当にすばらしい文化財がたくさんあるというこ とです。これからも八戸市の文化財を勉強し、市民 のみなさんに情報をわかりやすく発信していきたい と思っています。 (横山 寛剛)



遺跡報告会の展示会場にて 右で解説しているのが筆者。

#### マスコットキャラクター決定!

平成21年10月から12月にかけて、縄文館のマスコットキャラクターを募集したところ、子どもから大人まで、青森県内はもちろん、遠くは福岡県や大阪府などから計522件もの応募がありました。応募作品は、合掌土偶・遮光器土偶・縄文土器などをイメージしたすばらしいものばかりでした。これらの作品の中から、平成22年1月の審査会により優秀作品20点を選出した後、2月上旬に市庁本館や公民館などでアンケート調査を実施しました。この結果を参考に階上町林崎さんの「合掌土偶」をイメージした作品が、最優秀作品に決定されました。

このマスコットキャラクターは、縄文館のイベント・刊行物・ ミュージアムグッズ等に幅広く使用し、縄文館のPRに活用し ていく予定です。 (大野 亨)



#### 本棟工事完成



平成22年3月25日本棟完成! これから展示・駐車場工事や環境調査を経てオープンします。

平成23年度に開館を予定している縄文館の本棟工事が、平成22年3月下旬に完成しました。平成22年度は、展示工事、駐車場・外構工事を実施し、平成23年3月には施設が完成する予定です。

縄文館では、指定文化財(国宝・重要文化財)を展示・収蔵するための良好な環境が求められることから、収蔵庫・展示室の環境調査(温湿度・空気環境)を実施し、適正な環境が整った段階で開館時期を決定します。

#### 運営検討委員会

平成21年10月、縄文館の管理運営について検討する「(仮称) 是川縄文館運営検討委員会」が発足しました。委員会は、市内外の学識経験者・関係団体代表者・公募委員ら11人で構成され、(仮称) 是川縄文館の運営方法などについて活発な意見が交されました。検討結果については22年3月に報告書としてまとめられました。



# ていだん <mark>鼎談「縄文土偶の魅力」</mark>





ポスター

鼎談「縄文土偶の魅力」

八戸市公会堂文化ホール

平成21年6月21日八戸市公会堂文化ホールにおいて、市制施行80周年と「合掌土偶」の国 宝指定を記念した「鼎談―縄文土偶の魅力―」を開催しました。まず鼎談に先立ち、元文化庁美 術学芸課主任調査官の土肥孝氏による「合掌土偶について」と題した基調講演があり、函館市出 土の国宝「中空土偶」との共通点や相違点などに触れながら、国宝「合掌土偶」の魅力が紹介さ れました。そして、合掌土偶をイメージした髪形で女優の真野響子氏が登壇し、土肥氏、小林眞 八戸市長との3人で、縄文文化や土偶の魅力について熱のこもったトークが繰り広げられました。 市民約400名が来場し、盛会裏に終了しました。 (大野 亨)

#### 是川遺跡 PR 事業

是川遺跡の魅力を身近に感じてもらうことを目 的に、是川公開トーク、パネル展を開催しました。

公開トークでは、外部の講師と市職員による講 話で、仮称是川縄文館に展示・収蔵する予定の出 土品をわかりやすく紹介し、参加者との意見交換 が行われました。パネル展では、是川遺跡のこれ までの発掘の様子や縄文館建設状況などを伝える ため、八戸市庁・八戸市民病院で開催され、通り がかった多くの市民が見入っていました。



是川公開トーク第6回(角田祥子氏)

		公開トークテーマ	日時	会 場	講師	
_	5	是川の縄文の森	平成 21 年 11 月 25 日(水)		東北大学教授	鈴木三男氏
	5		18:00 ~ 19:30		八戸市文化財課	大野亨
6	6	是川縄文人の装い	平成 22 年 1 月 20 日 (水)	八戸市公民館	群馬県榛東村耳飾り館	角田祥子氏
	O		18:00 ~ 19:30	2階会議室	八戸市文化財課	小久保拓也
7	7	風張遺跡と合掌土偶	平成 22 年 2 月 16 日 (火)		阿房宮窯	沼畑優氏
	′		18:00 ~ 19:30		八戸市文化財課	村木淳

平成 21 年度 八戸市内発掘調査一覧

	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積(㎡)	主な時代
	館平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	H21.4.16	27	縄文・古代
	弥次郎窪遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H21.4.17 ~ 6.12	2.5	縄文・弥生
	根城跡下町	試掘調査	個人住宅建築	H21.4.23	28	中世・近世
	一王寺 (2) 遺跡 第 1 地点	試掘調査	個人住宅建築	H21.4.27 ~ 4.28	38	縄文・古代
	塩入遺跡	試掘調査	集合住宅建築	H21.5.1	50	縄文
市	新井田古館遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	H21.5.20	36	縄文・古代・中世
ιþ	骨沢 (1) 遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H21.5.25	10	縄文
	館平遺跡②	試掘調査	集合住宅建築	H21.5.27	25	縄文・古代
内	潟野遺跡	試掘調査	倉庫建設	H21.6.12	23	縄文・古代
	狐森遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H21.6.16	11	縄文
遺	八戸城跡①	試掘調査	個人住宅建築	H21.6.24	3	縄文~古代・近世
~	八戸城跡 第 24 地点	試掘調査	建物建設	H21.7.30	70	縄文~古代・近世
	法霊林遺跡 第7地点	試掘調査	個人住宅建築	H21.8.31	27	縄文・古代
跡	石橋遺跡	試掘調査	個人住宅建築	H21.9.16 ~ 9.17	25	縄文
	館平遺跡 第 23 地点	試掘調査	駐車場造成	H21.10.2 ~ 10.6	83	縄文・古代
発	八太郎山遺跡	試掘調査	進入防止柵設置	H21.10.28	4	縄文
	田面木遺跡 第 34 地点	試掘調査	水道敷設、道路舗装	H21.12.1 ~ 12.15 H21.12.18 ~ H22.2.15	58 226	古代
掘	八戸城跡 第 25 地点	試掘調査	集合住宅建築	H21.12.10	34	縄文~古代・近世
	八戸城跡 第 26 地点	試掘調査	集合住宅建築	H21.12.11	66	縄文~古代・近世
調	無島遺跡	試掘調査	神社境内整備	H21.12.15	1.8	縄文
训	八幡遺跡 第 5 地点	試掘調査	学校耐震工事	H21.12.15 • 16	31	縄文・古代・近世
查	一王寺 (1) 遺跡①	試掘調査	仮称是川縄文館擁壁 工事	H22.1.14	11	縄文・古代
	千石屋敷遺跡 隣接地	試掘調査	個人住宅建築	H22.3.25 ~ 3.26	24	縄文・近世
<b>ab</b> *	山内遺跡 第 1 地点	本調査	個人住宅建築	H21.4.22 ~ 4.30	114	縄文・古代
肀	千石屋敷遺跡 第 1 地点	本調査	個人住宅建築	H21.4.27 ~ 5.19	90	縄文・近世
	林ノ前遺跡	本調査	自然崩壊	H21.5.20 ~ 9.11	517	縄文・古代
業	高岩遺跡 第 1 地点	本調査	個人住宅建築	H21.6.12 ~ 6.18	65	縄文・近世
	一日市遺跡 第 2 地点	本調査	個人住宅建築	H21.7.14 ~ 7.23	75	縄文・古代
	新井田古館遺跡 第 22 地点	本調査	個人住宅建築	H21.7.15 ~ 7.29	90	縄文・古代・中世
	松ケ崎遺跡 第 14 地点	本調査	個人住宅建築	H21.10.2 ~ 10.20	19	縄文・古代
	千石屋敷遺跡 第 2 地点	本調査	個人住宅建築	H21.12.2	25	縄文・近世
	一王寺 (1) 遺跡 第 13 地点	確認調査	範囲・内容確認	H21.5.11 ~ 7.10	650	縄文・古代
	根城跡岡前館 第 55 地点	確認調查	個人住宅建築	H21.10.29 ~ 11.17	186	中世・近世
	田向冷水遺跡	本調査	土地区画整理	H21.4.20 ~ 7.31	10,411	旧石器~近世
受	館平遺跡 第 22 地点	本調査	携帯電話基地局設置	H21.7.16 ~ 7.31	540	縄文・古代
託	湯ノ沢遺跡	本調査	最終処分場建設	H21.8.3 ~ 11.13	9,846	縄文・古代・近世
	八戸城跡 第 23 地点	確認調査	公園整備	H21.10.1 ~ 10.17	51	縄文~古代・近世
•	新井田古館遺跡 第 23 地点	本調査	下水道整備	H21.8.20 ~ 9.3	283	縄文・古代・中世
業	重地遺跡第3地点	本調査	下水道整備	H21.9.8 ~ 9.25	181	縄文

# 大平洋 | 大塚山 | 大塚山

#### 《調査事務局》(平成21年度)

八戸市教育委員会

松山 教 育 長 隆豊 教育部長 芝 俊光 教育部次長兼 文化財課長 工藤 竹久 《文化財グループ》 副参事兼GL 藤田 俊雄 副参 事 村 木 淳 主 幹 小保内 裕之 主査兼学芸員 渡 則 子 事 盛 田 芽生 主事兼学芸員 杉山 陽亮 主事兼学芸員 船場 昌子 主事兼学芸員 横山 寛剛 《縄文の里整備推進グループ》 副参事兼GL 竹洞 一則 大 野 主 亨 幹 久 保 伝 主査兼学芸員 小久保 拓也

#### 《平成 21 年度刊行》

事

主

八戸市埋蔵文化財調査報告書

第 124 集 八戸市内遺跡 27 第 125 集 新井田古館遺跡

• 重地遺跡

磯島

理美

第 126 集 八戸城跡 V

第127集 湯ノ沢遺跡

第128集 館平遺跡

#### 〈お知らせ〉

平成 22 年度の機構改革により、文化財課は <mark>是川縄文館開館準備室</mark>となり、(仮称)是川縄文 館へ移転しました。

また、文化財課で受付していた、埋蔵文化財・史跡・名勝・天然記念物に関する届出や、民俗芸能など文化財一般に関するお問い合わせは、

社会教育課文化財グループ(市庁本館4階)に 窓口が変更になりました。

#### 掘りday 🕜 はちのへ 第13号

発行年月日 2010年6月30日

編集・発行 八戸市教育委員会是川縄文館開館準備室

₹ 031 - 0023

青森県八戸市大字是川字横山 1

Tel 0 1 7 8 (3 8) 9 5 1 1

E - m a i l bunka@city.hachinohe.aomori.jp http://www.city.hachinohe.aomori.jp/

index.cfm/12,0,43,64,html

(八戸市ホームページ)

印 刷 大東印刷株式会社

印刷部数:1,000部 印刷経費:一部あたり 94.5円